

令和7年 四・秋冬番茶情勢について

令和7年9月30日現在
JA静岡経済連 茶業課

1 気象状況

- (1) 気温は、8月から9月中旬にかけて平年より2℃前後高く推移しました。
(2) 降水量は、8月は平年を下回りましたが、9月は台風15号の影響により平年を大幅に上回りました。

(アメダス菊川牧之原)

時 期		平均気温 (℃)		降水量 (mm)		日照時間 (時間)	
		本 年	平年差	本 年	平年差	本 年	平年差
8 月		27.5	+1.8	31.5	▲149.5	254.6	+37.9
9 月	上旬	27.0	+2.6	230.5	+141.7	79.6	+20.2
	中旬	25.5	+2.5	116.5	+23.9	46.9	▲6.2

2 生産状況

- (1) 8月は、高温・干ばつ状態であったことから、三番茶芽の生育は抑えられました。9月に入って降雨により秋芽は伸び始めているものの、生育の遅れが見られます。
(2) 一部産地では、9月25日頃から生産が開始されました。平年より気温が高く再萌芽の危険性があることや受注対応による数量確保のため、多くの工場が生産を遅らせている状況です。10月上旬から摘採範囲は広がる見込みです。
(3) 一・二番茶の多収生産、夏期の高温・干ばつ等の影響から芽伸びが悪く、減産を見込む生産者が多い状況です。
(4) 11月上旬中旬まで平年より気温が高い予報となっているため、再萌芽による翌年一番茶への影響を考慮した生産を呼び掛けています。

3 流通状況

- (1) ドリンク原料を中心に在庫量は少なく、二・三番茶同様に引き合いは強い状況です。
(2) 現在の取引価格は、1,300円程度で取引され、(株)静岡茶市場での入札取引では、1,400円程度で取引されるなど過去に例のない相場展開となっています。
(3) 茶期前から数量確保に動く茶商が多く、荷物を分け合う状況が想定されることから、安定した相場展開が見込まれます。
(4) 相場状況確認のため、(株)静岡茶市場の入札取引を活用しましょう。

4 その他

- (1) 静岡県農協荒茶共販委員会では、茶業関係者の労務改善に向けて、秋冬番茶期の日曜販売の中止（休日取得）に取り組むこととしています。

5 近年の四・秋冬番茶生産量と価格の推移

年度	生産量 (t)	価格 (円)	年度	生産量 (t)	価格 (円)
令和6年	8,850	355	令和4年	10,040	311
令和5年	9,950	298	令和3年	10,450	318

(株)静岡茶市場情報（9月29日現在）

県内産秋冬番茶は、東部地区（沼津・富士）から9月26日に初入荷があり、引き合いの強さから入札単価で1,300円台/kgと過去に例のない高値でのスタートとなっています。

以 上